

講義名	日本語資格試験講座 【N2対策】			授業形態	
担当教員	井関 和恵	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要
日本語能力試験N2における日本語の言語知識(文字・語彙・文法)、読解、聴解について、総合的な内容を指導する。毎回の授業で、まずN2の問題を解いてもらい、それに関して詳しく解説する。

到達目標
N2における日本語の言語知識(文字・語彙・文法)、読解、聴解を確実に身につけ、活用することができるようになる。日常的な場面で使われる日本語に加え、幅広い場面で使われる日本語を、より理解することができるようになる。

提出課題
毎回の授業中に小課題を課す。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法
試験や小課題について授業中にフィードバックする。

評価の基準
試験(中間試験、期末試験)、小課題で総合的に評価する。

履修にあたっての注意・助言他
・毎回、出欠をとる。
・15分以上の遅刻は、欠席とみなす。
・授業には、辞書を持って来ること。
・全授業回数の1/3以上欠席した場合は、試験を受ける資格を失う。
・積極的な授業参加を望む。

教科書
.使用しない。

参考図書				
.日本語能力試験問題集N2文法スピードマスター.	浪道亜子・白石知代	Jリサーチ出版	1320	9784863920590
.日本語能力試験問題集N2読解スピードマスター.	小林ひとみ・森原里奈・木林理恵	Jリサーチ出版	1320	9784863920583
.日本語能力試験問題集N2聴解スピードマスター.	權橋明美・杉山ますよ・野原ゆかり	Jリサーチ出版	1540	9784863920576

その他
授業中にプリントや資料を配布する。

- 授業計画**
- 漢字(仕事・組織・自然・環境など)
 - 漢字(社会・科学・学問・研究など)
 - 文字(産業・技術・自然・仕事・能力・評価/類義語、対義語、同音異義語など)
 - 文字(語順・形容詞・動詞・多義語/複合動詞/カタカナ語など)
 - 文字(擬音語・擬態語・接頭語・プレースなど)
 - 文法(-はもとより、-限り、-に沿ってなど)
 - 文法(-に手づいて、-における、-表に)など)
 - 文法(-に照して[は]、-にあたってなど)/中間試験
 - 読解(内容理解[短文]、内容理解[中文]) / 中間試験
 - 読解(総合理解)
 - 読解(主張理解[長文])
 - 読解(情報検索)
 - 聴解(課題理解、ポイント理解)
 - 聴解(概要理解、即時応答)
 - 聴解(総合理解)/期末試験

授業形態(アクティブ・ラーニング)

ア:PBL(課題解決型学習)	<input type="radio"/>	イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ:ディスカッション、ディベート		エ:グループワーク
オ:プレゼンテーション		カ:実習、フィールドワーク
キ:その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)		

準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間
・事前に配布する資料を読み、分からない語彙や文法を調べる...各授業1時間程度
・授業中に覚えた語彙や文法を確認し習得する...各授業3時間程度

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
留学生を対象とした科目群で、実用的かつ基礎的な日本語能力を修得するとともに、豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持った人材を育成する科目である。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考